

## 義務教育学校の整備スケジュール 8年後の令和14年度に開校予定

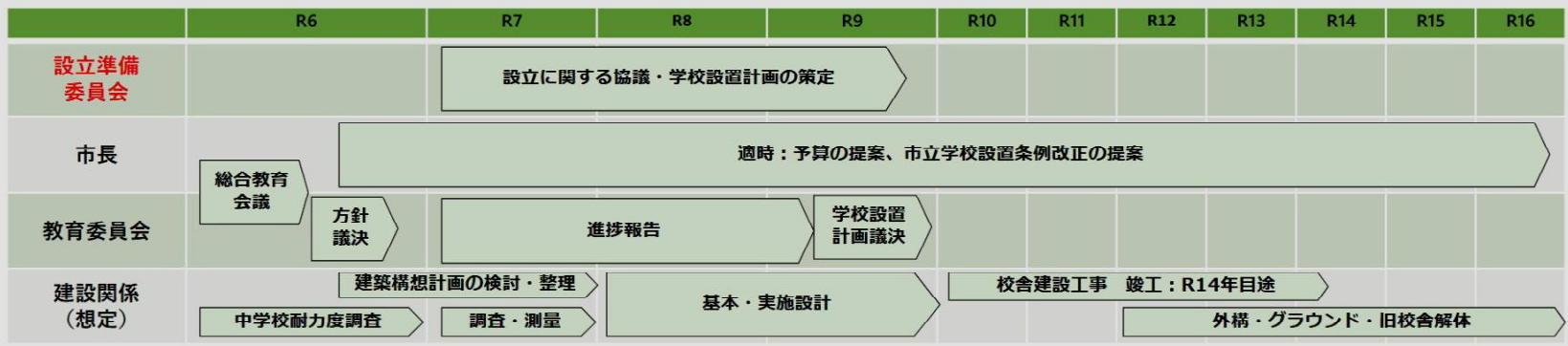
令和6年度第2回鶴岡市総合教育会議が25日開かれ、「藤島地域における義務教育学校の設置」について協議され、教育委員4人全員が賛成の意見を述べました。スケジュールでは、8年後の令和14年度開校予定となります。

## 藤島地域における義務教育学校の設置について

R6.11.25 教育委員会

整備検討委員会において、地域住民の意向と意見が取りまとめられたことから、教育委員会で、藤島地域における学校統合及び形態を議決し、今後、地域住民の声を聴きながら事業を進めていく

### 1 スケジュール



令和6年度第2回鶴岡市総合教育会議の資料から (11/25)

鶴岡市教育委員会では、今年度に義務教育学校を議決し、令和7年度に設立準備委員会を設置して、地域住民の声を聴きながら、事業を進めていくとされています。

- 設立準備委員会での検討項目は、
- 1 校名、校歌または校章に関する事
  - 2 教育課程・環境に関する事
  - 3 地域事業の調整に関する事
  - 4 その他、必要な事項の調整、同窓会、スポーツ少年団、学童など文厚エリア諸施設の検討項目では

整備スケジュールは、今年度に中学校耐力度調査を実施しており、7年度に調査・測量、8、9年度に基本・実施設計、10年度に工事着手し、14年度に開校を目指すとしています。

藤島中学校単独の改築では、令和7年度から基本計画に着手すれば、4年後の11年度に供用開始できるはず。本来、老朽化で改築

## ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

「青山崇30年会話録集」を読む②

魚屋の両親は嫌な存在だった。友だちと歩いていて向こうから父が来ると「臭い！臭い！」と言われるのを恐れて、物陰に隠れた。

一方、同じ組の歯医者さんのO君の家に行くと、お手伝いさんが出てきて、「お坊ちゃんのお友達ですよ」と言っ、まもなく真っ白なエプロンのお母さんが出てきて、部屋に案内され紅茶などをいただく。

わが家では、「ヤロ友だちが来たぞ」で終わりである。この母の差は、頭の良し悪しで決まっていたと信じていた。白いエプロンや、白い弁当包みなど、上品さに非常に憧れた。

教育採用  
先生は、昭和32年採用の1期生である。

試験は簡単な筆記試験と口頭試験であった。結果はABC評価で、Aは即採用、Bは空き間があれば採用で、先生はBであった。

3月に県教育長室に

呼ばれ、県の幹部であった叔父もいて、雑談で、教育長は、「君は学生運動をやって来たそうだが、社会党左派までいいが、それより左ではないだろうね」

「私の顔を見て下さい。穏やかで左には見えませんか？」と、とほけて何とか関門を通った。共産党は危険分子で社会党左派まではよかったです。

教育面談が終わると、隣室にいた庄内農高の村上与市校長(後、藤島町長)が出てきて、「君の寄宿する所は高校内にあるし、本校の生徒は50分授業はもたないので教科は10分位にして、後は君の自由でよい。のんびりした学校だからぜひ来い」と言う。

叔父は当時、秘書課長をしていて、叔父から「お前は警察帳簿にマル共ハナ鯉(マルトモハナカツオ)で載っているぞ」と揶揄された。妻の長兄が県警本部長だったので、その筋からの情報だったのかもしれない。(つづく)



東京教育大学の学生時代にセツルメント活動に参加(中央上が青山氏)

待った無しの藤島中学校だったのに、義務教

育学校を持ち込んだことが問題です。

# 著書出版のケリー氏が講演 農民の抗議は普遍的な遺産 ワッパ騒動150周年記念講演会



右から三原氏、ケリー氏、同会の升川繁敏事務局長。10月27日・鶴岡市

「ワッパ騒動義民顕彰会」は10月27日、鶴岡市で「ワッパ騒動150周年・碑建立15年・会発足20年・ケリー著書『日本語出版』記念講演会を開催しました。

同会前事務局長の星野正統氏が、20年間のとりくみを紹介しました。ワッパ騒動とは、1874年に庄内地方で、農民がワッパ（弁当箱）で配分できるほどの過納租税分の返還を求めた一揆です。

イェール大学名誉教授のウイリアム・W・ケリー氏が自身の著作である『19世紀日本における服従と反抗』日本語版出版にあたり、「異国からみるワッパ騒動」と題して講演しました。

1976年から2年間にわたって鶴岡市藤島地域に滞在し、現地インタビュー調査と研究を進めてきたケリー氏。ワッパ騒動は孤立した出来事ではなく、「三方領知替」、「大山騒動」、「天狗騒動」の四つの集団抗議の中に位置付けられると説明しました。

そのうえでケリー氏は、農民の抗議と団結のエネルギーの動機は、正義と公平を支配者に要求した普遍的な遺産であると強調しました。

庄内地域史研究所代表の三原容子氏は、「100%庄内について書かれた英語文献の原著（1985年版）が地元庄内で読めること、

文化人類学者ならではの歴史の見方」など、日本語版出版の意義について解説しました。

○三方領知替：1840年（天保11年）に庄内藩、長岡藩、川越藩の藩主を入れ替える幕命「三方領知替」に反対し白紙撤回させた庄内藩の領民による一揆  
○大山騒動：1844年（弘化元年）に現在の鶴岡市大山、同櫛引（当時丸岡）、庄内町余目の各地域を幕府領から庄内藩の管理とする幕命が下り、増税・重税の恐れから阻止を訴えた農民一揆

○天狗騒動：1869年（明治2年）に当時の酒田県に対し雑税免除、苦役免除などを求めた農民一揆

## 東田川史跡物語 明治前の福岡農法②

青山 崇

老農ではなく研究者として、林遠里とともに師と仰がれたのは横井時敬（ときよし）1860～1929・熊本（生）である。

島野より11歳若いのが、優秀で駒場農学校農学本科（現東大農学部）を首席で卒業した。

1882（明治15）年福岡農学校教諭になる。福岡農学校は明治12年、福岡勸業試験場内に農学所として併設され、翌年福岡県立農学校として独立した。

ここで種籾の塩水選種法を考案し、『農業小学』（明治18）発刊などの学績で、28歳で近代農学の祖といわれた。



（横井時敬）

稲作改良碑文に、「請農商務省迎島野嘉作君為稲作改良教師」とある。

これは、福岡勸業試験場時代に両者が知合っていたということもあり、島野の來庄は横井の推薦だったという。福岡県から全国に招

聘された稲作改良教師は、林遠里の私塾・勸農社だけでも、明治18年から26年にかけて、37道府県に464名を派遣したといわれる。



（林遠里）

民意なんだが

注目を集めた兵庫県知事選挙。俺は当選者にビックリしたが、これが民意なのだ納得するしかないです。しかし、報道されている事実を見れば、なぜとかドウシテと言う声は少なくないだろう。

▲何しろ、内部告発者

が知事の権力に負けて命を無くしているというし、そんな調査も含めて百条委員会が設置され、知事の不信任決議が満票で通っているという報道。それでも選ばれたんだから。SNSの使い方がドウノコウノもあるが、彼は選挙で勝ったんだ。

▲一方は海の方こうだ。またトラになったんだ。選挙に負けて国会議事堂に支持者を押しかけさせるような人・つまり民主主義を否定する人が当選したんだ。この人、8年前の選挙の時から裁判になっていた、未だケリがついていないものがあるんですよ。でも当選した。これも民意なんだわ。世界中でナンダカンダ言う人が居たってまだ。

▲どっちも長く注目を集めていくことになると思うが、総選挙での民意は自公政権を嫌った。でも、その方向性を決めたのは共産党のしんぶん赤旗だったが、その票は共産党までは届かず、自民党から仲間誘われる政党にとどまったんだ。

▲それでも、これも民意だとして103万円の壁を動かす事で合意したようだ。しかし、税制改正の中で話し合うというから、国民にどんな成果が表れるか楽しみというより心配がある。それは、そっちに持って行っては政治的な決着でなく、財務省が力を発揮し、小さく纏められる心配があるのでは。（石川）

（『新やまがた』2024年11月17日付から転載）